

録画配信 **水害対策**

日常の良好な関係性は、いざという時発揮する

つぶやき

みらいの会
ふるや
古屋 としみつ 議員

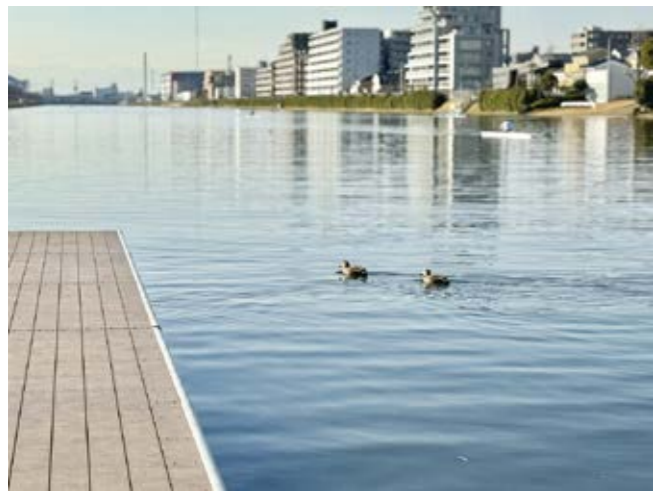
Q 戸田ポートコースの活用が効果的では

A 被害軽減のため大変有効な手段と考える

議員 戸田ポートコースの貯留量は、水位 10 センチあたり 2 万トン。例えば、50 センチ下げることができれば、現在行っている事前放流以上の量である約 10 万トンの貯留量が確保されることから、ポートコースの活用は市内の浸水被害対策として非常に高い効果が見込まれる。市の見解を伺う。

水安全部長 浸水被害軽減のための戸田ポートコース活用は、大変有効な手段と考える。引き続き、貯水量拡大に向けて県に働きかけを行っていく。

議員 その他、流域治水の考え方で、本市だけの対策だけでなく、上流にあたる近隣自治体との協力体制も重要である。



浸水被害対策として効果が期待される戸田ポートコース

その他の質問

Q 平時の市と市内企業との良好な関係性は、非常時やスムーズな市内体制に重要。育成・確保のためにも多くの市民も関わっている地元企業の受注機会をより確保する取り組みはできないか。

A 公平性、公正性、競争性を確保しながら地元企業が受注しやすい環境整備の新たな取り組みについて調査研究を続ける。

録画配信 **新年度予算編成**

市民の暮らしと生業を守る予算編成を

つぶやき

日本共産党戸田市議団
ほんだてつ
本田 哲 議員

Q 様々な負担軽減策を講じる予算編成に

A 市民の命と暮らしを守る予算として編成

議員 令和 6 年度の予算は、本市の豊かな財政を生活や生業の隅々まで生かし、さまざまな負担軽減策を講じる予算編成となる必要があると考える。市の考えは。

企画財政部長 市民の命と暮らしを守るため、限られた予算の中で最大の効果を発揮するよう編成している。

Q 親水公園のトイレの改修を

A 今年度中に不良箇所調査を実施する

議員 川岸 3 丁目の親水公園のトイレの個室が使用できなくなっている原因と、今後の改修スケジュールは。

環境経済部長 排水管の通水不良から男子トイレの個室を閉鎖している。今年度中に不良箇所調査を実施する。詰まりなどが原因の場合は、今年度中または来年度早々に修繕する。躯体の老朽化などが原因だった場合は、再築などに向けた予算化を検討する。

議員 不良箇所調査は、本年度いつ頃実施する予定か。

環境経済部長 不良箇所調査は、年明けの 1 月早々に実施できるように業務発注の準備を進めている。

議員 再築などをする場合のスケジュールはどうか。

環境経済部長 再築などの場合、工事に伴う設計業務を令和 7 年度に実施できるよう予算計上していきたい。



川岸 3 丁目の親水公園のトイレ

録画配信 **植栽管理**

安全、通行、近隣住民に配慮した植栽管理を！

つぶやき

戸田の会
やざわはるか
矢澤 青河 議員

Q 住民への配慮は不可欠。市の植栽管理は

A 安全性や景観性を高める整備を研究する

議員 道路や公園の植栽は豊かな景観や緑陰を市民へ与える。一方、植樹から数十年が経過し、老朽化や高木化が進み、倒木や落枝、繁茂した草木による視認性の低下、管理費の増加などの課題が顕在化している。特に道路では、安全面・通行面は最優先。県では街路樹の管理方針を策定し、交差点や歩道の車両出入り口から 2 メートル以内の植生を制限している。植栽の安全・通行対策は。

都市整備部長 道路の植栽管理は、年 6 回の巡回や市民からの通報などにより現地確認を行い対応。道路環境が大きく変化した場合には利用形態に応じて植樹帯を狭めるなど、歩行スペース確保に努めている。

議員 市民の意見が最も多い落ち葉や害虫問題。こまめな剪定や距離の確保、樹種の選定（低木や常緑樹）など近隣住民への配慮は不可欠。市の植栽管理について伺う。

都市整備部長 道路では、時期を考慮して剪定・路面清掃などを実施している。

環境経済部長 公園では、高木の管理方針を定め倒木などの防止を実施。今後は、安全性や景観性を高める整備方法を研究する。

議員 道路や公園、学校など統一的な植栽の管理方針や部局横断の包括的民間委託など、今後研究を。



▲交差点・横断歩道付近の植栽 ▲歩道の植栽と点字ブロック

▲夏の緑陰―秋の落ち葉 ▲近隣家屋に越境する植栽

録画配信 **心を育てる教育**

子供たちの取り組みに関心を持ちほめよう！

つぶやき

とだ彩光会
はやしふゆひこ
林 冬彦 議員

Q 好奇心や自制心、やりぬく力の育成は

A 全小中学校で育成計画を作り進めている

議員 GIGA スクール最先端を走る本市教育は「記憶、学習、論理的」といった「知力面」が注目されがちだが、人間的な成長に欠かせない「好奇心、自制心、やりぬく力」などの心の育成にはどう取り組んでいるのか。

教育部長 子供たちが 21 世紀を主体的に、そして充実して生き抜くための支援を全力で行うことが使命であると考え、全小・中学校で育成計画を作成し日々の学習や活動、学校行事など教育活動全体で取り組みを進めている。市内全小中学校で取り組むカリキュラムでは「間違いも正解もない」「お互いを尊重し受け入れあう」「思ったことや考えたことは全て発言してよい」「途中で考えが変わってもよい」などの約束のもと話し合うことで自己肯定感が高まる効果がみられる。異年齢集団での交流、職場体験、先端技術活用や有識者授業、町探検、課題解決型学習 (PBL)、プレゼンテーション大会といった取り組みなども子供たちの心の育成に効果を上げている。

議員 知力のみならず心の育成にも力を注ぐ取り組みの数々に感動した。私たちも子供たちの取り組みに関心を示し、褒めることで心の成長を応援できる。さらに大人も生涯学習などを通じて成長できる。それが「教育のまち」の姿だと理解し、未来に希望を感じた。



知力のみならず心の育成にも注力する教育